

職業体験 レポート

作成者（クラス・名前）

西条北中学校 3年3組
三宅 愛香

事業所名： 西条市役所 シティプロモーション
推進課

◆職場紹介◆

西条市の魅力を市役所から発信している。
西条市から出た大学生のUターンも勧めている。
ホームページ、SNSの運営
広報誌の運営・発行



◆主な仕事の内容◆

西条の魅力を発信する。
インタビューする。
加茂川の危険を中学生に知ってもらう。

◆職場で体験したこと◆

写真撮影
インタビュー
記事を書く
テレワーク
五日市のインタビュー
SAIJOBASEへの取材
東予高校へのインタビュー

ラジオCMの録音
神戸小への取材
ブレインストーミング

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
		～11時半 大阪事務 所の方と テレワー ク ラジオCM	～12時半 昼食	～14時 東予高校 へのイン タビュー	15時～15 時半 北中へ訪 問	～16時半 記事作成	

体験スケジュール ※7月7日の場合



◆うれしかったこと、うまくできたこと◆

- ・記事のまとめをうまくまとめることができた。
- ・記事の作成を褒められた。
- ・西条市の魅力を知ることができた。
- ・一眼レフがうまく使えた。



◆大変だったこと、失敗したこと◆

- ・尺が余り、新しい質問を考えなければならないときになかなか質問が出てこなかった。
- ・カメラワークが大変だった。
- ・街行く人に突発的なインタビューをすることが大変だった。
- ・写真を撮るときの許可を忘れてしまった。
- ・最初の方は緊張していてうまく会話ができなかった。
- ・記事を作るときの誤字脱字がたまにあった。



◆感想・まとめ・「ジョブチャレ」を通して学んだこと◆

仕事というものは大変だということがわかった。
 もちろん中学生なので、みなさん優しく接していただいたけれど、自分が社会人になったときは大変なんだろうなと思った。
 市役所の方も、我々のフォローをしたり、気を遣ったりして大変なのだなと思った。
 インタビューは、考えた質問は質問できたけれど、アドリブで質問を考えなければならないとき、全く思い浮かばなくて大変だった。
 自分と同じところに配属になった同級生はアドリブで質問を考えていて、自分も見習いたいと思った。
 記事の作成はうまく行ったと思う。自分は文章を考えることが好きなので、ある程度まとめてからメンバーで添削していった。写真を撮ることも大変だったけれど、それを考えて選ぶ方がもっと大変だった。
 市役所の人たちが写真をきれいにデザインしていて、自分も将来のためにその技術を学んでいこうと思った。
 将来の仕事に生かせることをたくさん学んだので、それを忘れずにこれから頑張っていこうと思った。